地域ケア推進会議　報告書

【医療・介護連携に関する場合のみ】

提出日	2021年10月1日
作成 高齢者支援センター	町田3
作成者	田中一恵

1.開催日時	2021年9月27日	（月）	19：00	～	20:00
2.会場	zoomによるリモート				
3.主催センター	町田1　・　町田2　・　町田3				
4.参加人数	22　人				
5.参加者内訳	市役所　5 人　ケアマネ　2　人				
	病院　3 人（うち、医師　1 人）　歯科医　2 人				
	薬剤師　1 人　人　医療関係者　1 人				
	センター　8 人　人　人				
	（　）				
6.開催テーマ	初期認知症の方への支援と地域フレイル予防を考える　第2回				
7.地域課題	（1）課題設定の背景 新型コロナウイルス感染症の長期流行に起因する外出自粛とその長期化、また、感染症への心配・不安による家族や地域住民との交流機会の減少により高齢者が孤立してしまい、初期認知症と疑われる方やフレイルと思われる方が潜在化している背景がある。 （2）検討した地域課題 ①認知症の方への専門職連携の方法が確立されていない。 ②認知症施策（初期集中支援チーム等）の周知が不足している。 ③地域住民のフレイルリスクの上昇。				
8.会議の内容	＊高齢者福祉課介護予防係・各支援センターから介護予防・フレイル予防についての取組について説明を行った後、各専門職から、地域住民のフレイルリスクの上昇について情報共有を行い下記の3点が課題として纏められた。 課題 ①「フレイル」の言葉は知っていても、「フレイル」の意味や内容を知っている専門職・住民は少ない。（周知不足） ②老々介護者も含め、介護者が自宅に引きこもっているケースが見受けられる。（引きこもりの高齢者が潜在化している） ③スマホやタブレットを所持していても、自発的に使うのが困難な高齢者が多くみられる。（オンラインによる社会参加の伸び悩み）				
9.課題に対する対応策・今後の地域での展開	※コロナ禍で高齢者のフレイルが進行しているため、社会参加の促進が必要となっている。社会参加に繋げていく取り組みとして、具体的に圏域で出来る事を検討し実行していく。次回11月22日（月）の圏域地域ケア会議にて、7月に開催した認知症関連テーマと今回のフレイルテーマをどう取り扱うか協議を行う予定である。				

医療と介護の連携支援センター 確認欄	☑確認済み